

川崎市役所
本庁舎建替

WEBNEWS

Vol.16
R5.7

令和5年6月

新本庁舎完成



発行:川崎市総務企画局本庁舎等整備推進室
協力:大成建設株式会社 横浜支店

令和2年5月より始まった新本庁舎工事が竣工を迎えました。

新本庁舎完成



館銘板と本庁舎



展望ロビー



ホール



高層棟3階共用会議室



2階回廊デッキ



アトリウム



市役所通り側広場



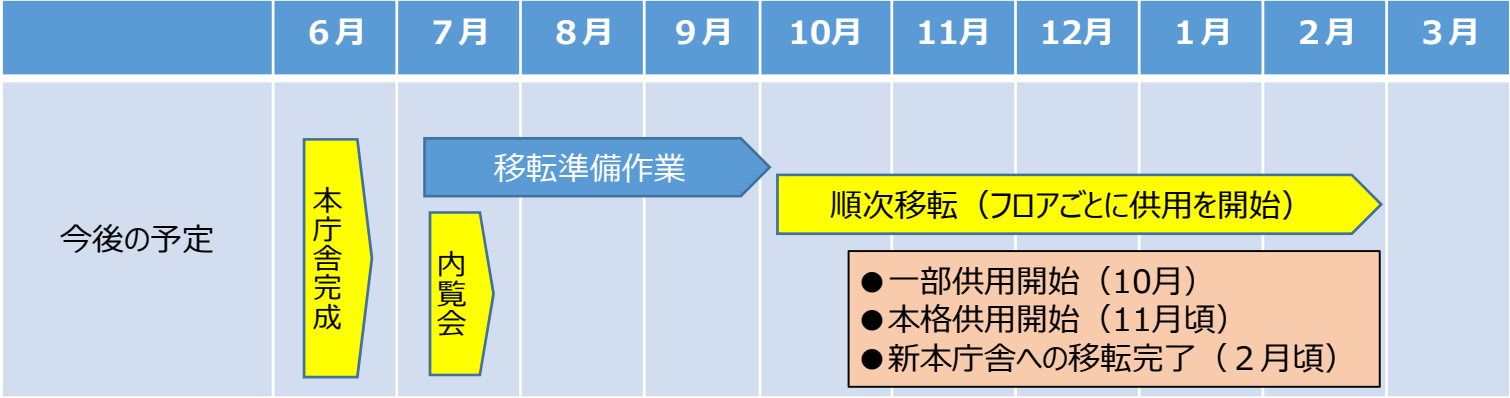
旧正面玄関



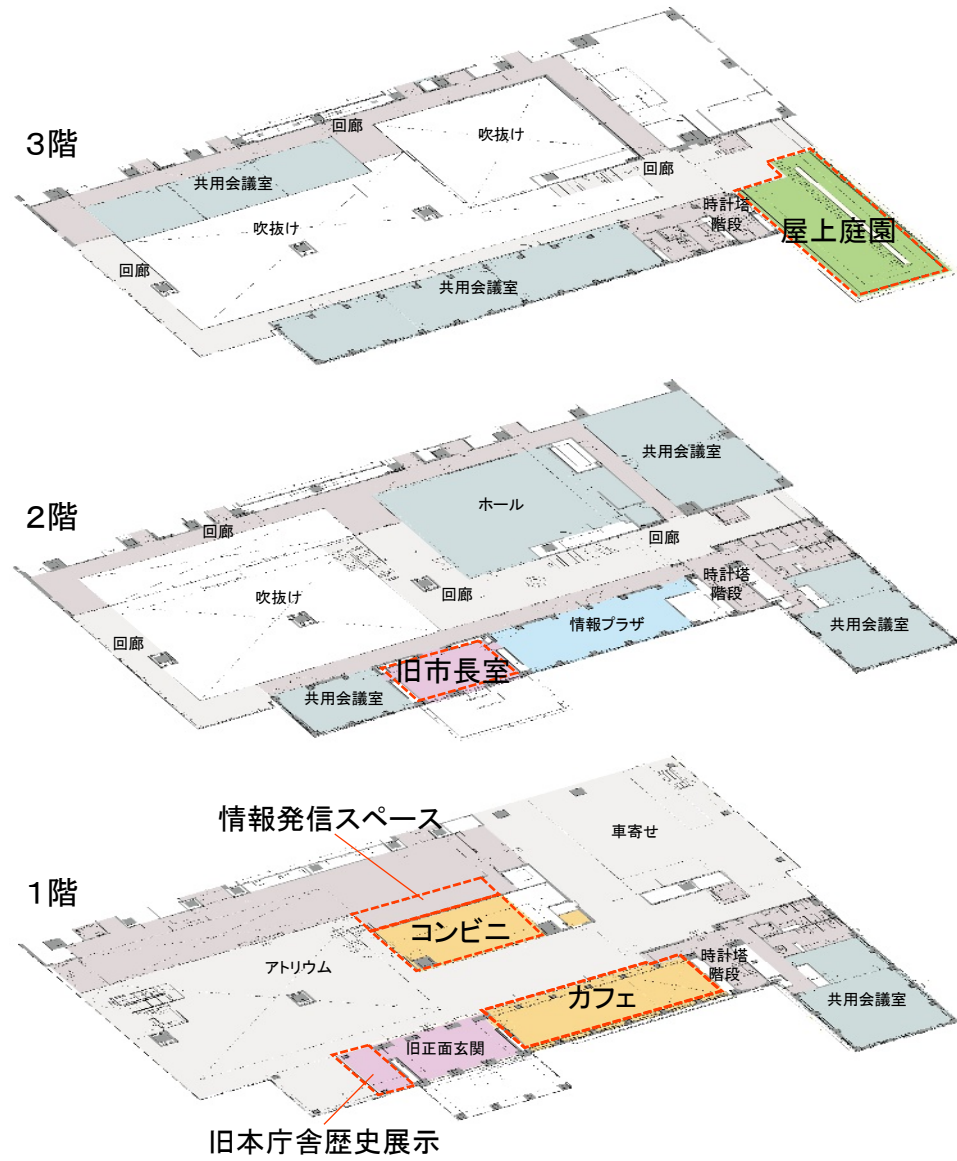
壁面緑化

供用開始スケジュール

新本庁舎の供用開始の主なスケジュールは以下のとおりです。
10月から順次移転を開始し、今年度末には、新本庁舎への職員の移転が完了します。



※第3庁舎への移転完了時期は、令和6年7月頃を予定しています。本庁機能は、新本庁舎、第3庁舎、御幸ビルに集約されます。



■屋上庭園・旧市長室

本格供用開始後(11月頃～)は自由に見学できるようになります。



■情報発信スペース・旧本庁舎歴史展示

市のプロモーション映像や旧本庁舎の歴史紹介映像などを見ることができます。
本格供用開始後(11月頃～)は自由に見学できるようになります。



■コンビニ・カフェ

令和5年度末頃の開業を目指しています。



【25階展望ロビー・スカイデッキ】

25階には建物外周に沿って展望ロビーと半屋外空間のスカイデッキを配置しています。
川崎市内だけでなく、東京・横浜方面も一望できます。天気が良い日は、スカイツリーや富士山も見ることができます。

本格供用開始後(11月頃～)は、9時から21時まで自由に見学できるようになります。

旧本庁舎と復元棟

市役所通りに面した復元棟は創建当時の旧本庁舎の意匠を復元しています。

旧本庁舎は昭和13年の創建当時、本館が3階建て、東館が2階建てでした。その後増築が行われ、平成28年の庁舎解体時には本館が4階建て、東館が3階建てとなっていました。

復元棟の設計に先立って、創建時の姿に復刻するための調査を行い、現存する竣工写真（白黒）のカラー化も行いました。

また、工事にあたっては、解体時に保存していた部材や、調査を基に復元した部材を使用する等、創意工夫を行いました。



【解体前の旧本庁舎】



【創建当時の旧本庁舎（カラー化した竣工写真）】



【令和5年6月に完成した復元棟】

第2庁舎跡地広場整備

第2庁舎は、本庁舎などに移転した後に解体し、跡地には令和6年度の完成を目指して広場を整備します。



【第2庁舎跡地広場イメージパース】

新本庁舎の案内サインを彩る かわさきいろいろ 写真募集

～魅力ある川崎の色、見つけてください～

新しい本庁舎のデザインは、ブランドメッセージである「Colors,Future! いろいろって、未来。」をキーワードに様々な部分で多様性を表現しています。

その中で、川崎の様々なシーン(情景)を、本庁舎を訪れた多くの人が目にする、本庁舎内の各所に点在する案内サインのデザインに取り入れるため、写真を募集しました。

令和3年1月から令和4年5月までの間、4回にわたり募集を行い、全611枚もの魅力的な写真の応募があり、そのうち77枚が採用されました。

写真募集で採用された写真について

採用された写真については、細長く切り出され、庁舎の案内サインの側面に取り入れられています。

1階情報発信スペース向かって右側及び復元棟1階(アトリウム側)のガラス面に採用写真一覧を展示しており、復元棟1階(アトリウム側)には、写真を掲載した案内サインの配置図も掲載しています。

また、切り出された部分の色合いやテクスチャ(素材感)が特に素晴らしかった写真については、アトリウムを彩るバナーとしても使われています。

バナーは表面と裏面でも写真が違いますので、供用開始後、ぜひご覧ください。

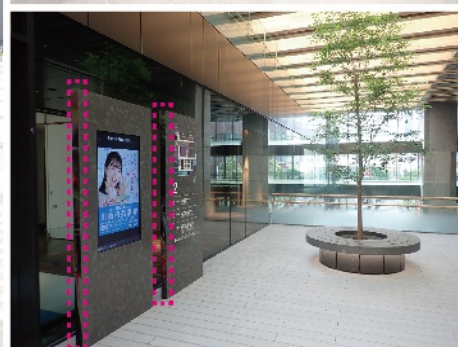


情報発信スペース右側ガラス面

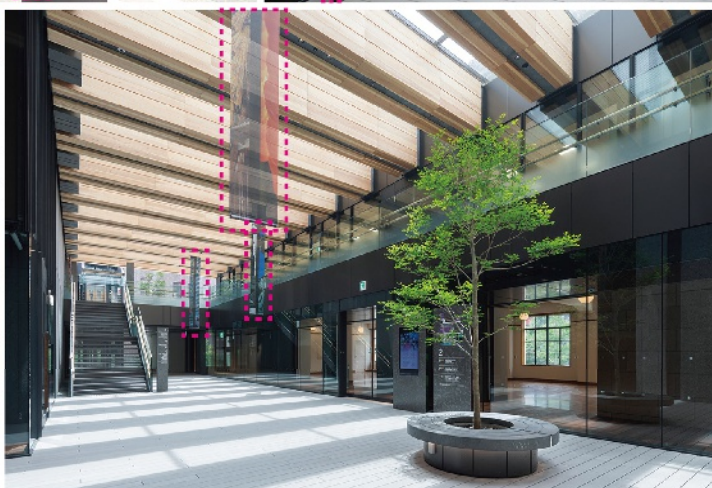
採用写真(一例)



庁舎案内サイン(一例)



アトリウムのバナー





発行・お問い合わせ先



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市総務企画局本庁舎等整備推進室

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL：044-200-0281

FAX：044-200-3749